

協議体とは

- ・ “協議体”とは地域に支え合いの輪を広げていくために、地域の方や地域で活動する団体などが参加して話し合う場のことを指します。
- ・ 帯広市では第1層生活支援コーディネーターが設置する帯広市全体のことを協議する「生活支援・介護予防ネットワーク会議」をはじめ、市内を8圏域に分け各圏域を担当する第2層生活支援コーディネーターが設置する協議体など、複数の協議体があります。

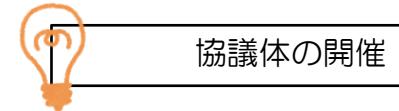
イメージ(図)

地域（高齢者等）のニーズ
や困りごと・資源の把握

例えば…

近くに歩いて行けるスーパーが無い

一人暮らしで夏の庭の草取りや
冬の除雪が大変



地域の住民等の話し合いの場を設け、同じ
ニーズや困りごとが無いか共有したり、課題
解決のためにできることを話し合います



地域の資源とのマッチング

地域にある人（企業や団体等など含む）
やサービス、物と困りごとを抱える高齢
者などをマッチングします



生活支援コーディネーターは日頃の活動の中から、地域住民のニーズや困りごと、地域にどのような資源があるのか把握します

生活支援コーディネーター
(地域支え合い推進員)



協議体に参加するメンバーを集めなど協
議体を設置・運営します

新たな地域資源の創出

マッチングできる資源がなければ協議体
の運営の中で新たな地域資源を作ること
も検討します



協議体設置状況①

(令和7年11月末時点)

No	日常生活圏域	協議体名	発足時期	主な協議・活動内容	担当生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)
1	全市	生活支援・介護予防ネットワーク会議	平成28年	帯広市に適した生活支援サービス体制の整備に関する協議を実施	大江
2	全市	フードパントリー準備室	令和 7 年	生活困窮等により食べる物が無い方へ、食べ物の支援を通じて地域課題に関する協議・支援を実施	大江
3	全市	チームミモザ	令和 7 年	地域のちょっとした困りごとに対し、“できることを、できる人が、できる時に行う”支援について協議・活動を実施	大江
4	東	東地区協議体	令和元年	ちょっとした支え合いサポーターを中心とした協議体。地域包括支援センターと連携・協働しごみの片づけ支援等を実施	菊地
5	鉄南	鉄南地区協議体 2	令和 5 年	再開した町内会活動を通した地域活動に関する協議を実施	宮本（拓）
6	鉄南	光南地区協議体	令和 7 年	高齢者の社会参加についての課題解決に向けた協議を実施	宮本（拓）
7	川北	栄地区協議体（さわやかな風）	令和 4 年	移動販売を通して地域住民の困りごとや生活状況に関する情報を共有し支援策について協議を実施	郡山
8	西	芳園町内会仲良し会	令和 7 年	地域住民による介護予防に資する活動を行うための協議・活動を実施	宮本（弓）
9	広陽・若葉	見守り隊協議体	令和元年	ちょっとした支え合いサポーターを中心とした協議体。地域の見守り体制などに関する協議を実施	大島
10	西帯広・開西	西帯広・開西地区協議体 (あいじえん西帯広見守り隊)	平成30年	主に認知症高齢者の見守りや支援に関する協議を実施。中学生ボランティアとの協働についても協議を実施	神山
11	南	大空地区協議体	令和 3 年	担当圏域に居住する個人への支援について検討するため発足	松井

協議体設置状況②

(令和7年11月末時点)

No	日常生活圏域	協議体名	発足時期	主な協議・活動内容	担当生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)
12	南	南町地区協議体 (稻田さわやか)	令和 4 年	主に自主活動団体の活動継続に関する協議を実施	松井
13	南	南町地区協議体(南町連合町内会)	令和 6 年	南町地区の町内会長・役員を中心に地域課題に関する協議を実施	松井
14	南	豊成地区協議体	令和 7 年	豊成地区に集いの場を創出するための協議を実施	松井
15	川西・大正	八千代・広野地区協議体	令和 3 年	集いの場でのイベント開催の企画や自主サロンの運営に関する協議を実施	梶
16	川西・大正	大正町協議体 (大正町ちょいサポ会)	令和 4 年	主に除雪やあいのりタクシーの利用に関する協議を実施	梶
17	川西・大正	大正地区協議体(夢を語る会)	令和 7 年	地域の多様な主体が参画し、町づくりに関する協議を実施	梶